

## I 事業実施の方針

- 定例会、花輪川の作業の日程については昨年度に引き続き、原則第2日曜日の開催とする。又それに伴う理事会は原則として定例会一週間前の土曜日とし、会運営の充実と会員の団結を図って行く。
- 会報「オイコスかわら版」は本年度も年3回の発行を予定すると共に、HPの充実にも力を注ぎたい。
- 助成金、補助金については八千代オイコス活動資金として、本年度も引き続き八千代市「市民活動団体支援金交付制度」及び「コープみらい財団」を活用して行きたい。

本年はオイコス設立18年目を迎え、更に来年度2020年は役員改選年度である。これを機にオイコス基本事業、組織構築の再点検及び見直しを計り、新しい展開を進めたい。

第一に印旛沼関連事業として、過去多方面に連携を結び行政・市民団体とのつながりを以って活動を行って来たが、その後連携先の活動の停滞や行政の組織変化に伴い活動が立ち消えとなったものも多く、それらの結びつきの整理を行いたい。又、会員の勉強会により活動の歴史を学び活動意識の共有化を計りたい。

第二に「川の学校」は11回を数え、“川で遊び、川に学ぶ”は定着した。

しかしオイコスの組織的問題（高齢化）による対応力カバーと応募者の参加日を選べる方式を考慮し、開校日を一日とし2回の開催日とする。

一方、昨年スタートの「子どもたちと米づくり体験」は募集数にやや問題あったとの反省を踏まえ本事業を今年の重要課題として取り組みたい。

これらは今後のオイコスの指標を＜子ども達の地域教育の場＞作りとしての重点方針として進めて行きたい。

第三に例月の川作業の内容を計画的な活動として進める。

第四に会員の目的意識向上の勉強会を計画する。

1. 地域環境の保全に係る事業を図るための自然環境調査・評価事業
  - (1) よみがえれ花輪川事業 <印旛沼の環境を良くする活動を基本理念とする>
    - ① 川作業の年間プログラムを立て、推進担当を中心にすすめる。
    - ② ヤナギモ等の水草の復活促進を計画。
    - ③ 例年に引き続き、花壇・遊歩道の整備を実施。市民の為の遊歩道として側道的美観活動を行う。
    - ④ 定例川作業時に水質検査（簡易な検査）を行い記録を管理する。
2. 自然 環境に関する意識開発のための教育支援事業
  - (1) 川の学校 in 花輪川
    - ① 八千代市、教育委員会、学校と連携を保ち協力を要請して行く
    - ② 大学生（ボーイスカウト）と連携を図る。
  - (2) 子どもと大人が参加の「米づくり体験」の定着化。
  - (3) 春、秋のエコウォーキングの継続。  
昨年チームを主に内容の検討、企画をすすめる。
3. 地域のホタルの棲息環境の保全・観測調査
  - (1) 石神谷津に於いて8月3日（土）ホタル観賞会を実施予定。
  - (2) 八千代市「ほたるの里づくり実行委員会」の運営にオイコス会員数名が参画。

#### 4. 休耕田の有効利用

##### (1) 米づくり

神久保で長年モチゴメの耕作を続けたが、昨年より島田谷津の保全も兼ねて実習の地として借りた休耕田を農業体験の学びの場とする。

#### 5. まちづくり活動に係る行政、諸団体との協働及びネットワーク構築事業

##### (1) 千葉県、八千代市行政との協働

千葉県環境生活部県民交流・文化課、八千代市環境保全課など関係各課と連絡を取りながら予定された事業を展開して行く。

##### (2) 八千代市市民活動サポートセンター、八千代市ほたるの里づくり実行委員会との連携

「市民活動フェスティバル」及び「地域デビュー講座」等に協力すると共に、ほたるの里づくり実行委員会の開催する事業、市民連合会にも引き続き積極的に参加して行く。

##### (3) 市民活動団体との連携

千葉県及び八千代市で活動する市民団体とも協力し、それらの主催するイベントには必要に応じて参加してゆくこととする。

特に、実行委員として3回目を実施した「八千代新川千本桜まつり」に参加したが、今後も八千代市のメイン行事育成の為、協力を計って行きたい。

以上